

韓国

国公立医療及び保健研究機関近代化事業



本事業にて導入された血管造影撮影機

[借款概要]

| | |
|---------|---------------------|
| 承諾額/実行額 | 4,000百万円 / 3,867百万円 |
| 借款契約調印 | 1980年1月 |
| 借款契約条件 | 金利4.0%、返済25年（据置7年） |
| 貸付完了 | 1985年1月 |

[事業概要]

韓国において近代化が遅れていた国立病院及び国公立保健・環境研究機関を対象として、必要な設備・機器を導入し、これら病院等の医療・研究水準の向上を図るもの。

[評価結果]

本事業においては、5カ所の国立病院及び12カ所の国公立保健・環境研究機関を対象として医療機器等が調達・導入された。

対象の病院のうち国立医療院においては、調達から20年近くなり既に耐用年数を過ぎて廃棄された機器も多いが、手術台、インキュベーター等は現在も活用されている。同病院では、1978年時点と比較すると、本事業実施後にレントゲン撮影回数は約20%（1985年）、検査回数は約100%（1985年）、手術回数は約70%以上（1990年）それぞれ増加している。

また、研究機関のうち国立環境研究院では、1979年時点と比較して本事業実施後（1985年）の大気汚染関係の実験回数はそれまでの約7倍以上に増加しており、本事業による機器の増強が寄与したものと見られる。

韓国では、1970年代後半以降、保健医療環境が急速に改善したが、本事業は全国的な医療体制が整備される初期段階において、中枢的な病院・研究機関の機能向上に寄与したものと評価される。